



発行:土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356

## 行事報告

# 第二回土居地域六年生交流会



1月22日(水)、土居隣保館において、第二回土居地域六年生交流会を実施しました。この交流会は、人権に関する様々な学習を行い、お互いの思いを理解しあい、中学生になっても差別を許さない思いでつながることを目的としています。

当日は『友情ヘラン』のビデオを視聴後、十班に分かれ、意見交流をしました。また、各班には中学生にも加わってもらい、中学校での取り組みなども話してもらいました。各班とも、活発に自分の考えや思いを伝え合うことができました。以下に参加した児童の感想を紹介します。

長津小学校 <sup>いはら ゆづき</sup> 井原 優月さん

ぼくはこの交流会を通して、差別というものは友情を崩壊させるものだとなりました。親も伝言ゲームのように、昔の考えを信じて差別を続けているのであれば、正しい知識を教えることが大切だとわかりました。もし、身近な人で差別をしているのであれば、今の正しい知識を教えて、差別を終わらせることが大切だとわかりました。なので、これからもこの世界を差別がない世界にしたいです。そしてこの交流会のことを生かしていきたいです。



小富士小学校 <sup>こんどう さら</sup> 近藤 紗來さん

私は、今回の学習会で、差別は絶対にしてはいけない事だと改めて思いました。「友情ヘラン」であったように、人を住んでいる場所で差別することは許せません。そもそも差別をされる場所はどこにもないはず。また、差別をされた人と友達にいることを、親が止めさせるなんて絶対におかしいと思います。注意されるべきなのは、差別をしている側のはずです。その差別をした人にしっかりと注意しないと差別が広がってしまうかもしれないからです。

今回の話では、差別をする側になった人と、差別に立ち向かい止めさせる側の人がありました。私は、差別を止めさせる側の人になりたいです。自分の周りに差別をしている人がいたら注意するだけでなく、誰に対しても平等に接することを心掛けていきます。



土居小学校 <sup>みよし かすみ</sup> 三好 香澄さん

私は6年生交流会で、前は6年生だけだったけど、今回は中学生の人たちといっしょにいじめや差別をどうなくしていくか学びました。ビデオを見て、ゆうこさんがしたことは「すごい！」と私たちは思いました。けれど、中学生の人たちはゆうこさんの行動はあたりまえとを考えていて、自分もゆうこさんの行動があたりまえと考えられるようになりたいです。ほかにも先生たちが「もし、仲の良い友達に悪口や差別をされたら正しいことを言えないかもしれない。けれどまわりの人とも相談して解決すればいい。一人でたちむかうこともすごいけど、まわりの人と相談して解決するのも、一つの方法だと思う。」と言われた時、私は「そうだな。」としました。自分の考えも変えてみようと思いました。自分はいけないことは、いけないと言うけど、言えないときもあると思います。そういうときに、きちんと相談して、本当に学校やまわりからいじめや差別をなくしたいと思いました。今日話したことをお父さん、お母さん、兄や弟にも伝えいろいろな人に知ってもらいたいです！

北小学校 <sup>てらお</sup> 寺尾 <sup>るか</sup> 瑠翔さん

2回目の6年生交流会のときに「友情ヘラン」のビデオを見た後、思ったことをみんなで伝え合う活動をしました。これまで北小学校のみんなとは話し合ってきたけど、違う学校の子と話し合うのは初めてなので少し緊張しました。グループの話し合いのときに、「親に『あの子と遊んではいけない』と言われたからといって、何も言い返さず、言いなりになるのはおかしい。」という私の意見と同じ子がいました。「ゆうこさんのお父さんの無関心なところが悪い。」という意見もあり、「こんな考えもあるんだな。」「たしかにそうだな。」と思いました。自分と同じ考え方や、違う考え方があって、とてもいい機会になったなと思いました。

中学校へ行ったら、これまでよりもたくさんの人と友達になると思うから、「友情ヘラン」の話で学んだように、もし何かあったときは友達のために行動し、ゆうこさんや、しょういちさんのお父さん、しんごさんのお姉さんのように、正しいことは正しいと言っていきたいです。そして、間違った考え方の人に負けない人間になりたいです。また、しょういちさんのお父さんが言っていた「人間一人じゃ弱くても、みんななら強いんだ。」という言葉のように、仲間とも協力して差別を無くしていきたいと思います。



関川小学校 <sup>こうだ</sup> 合田 <sup>みれい</sup> 美伶さん

ビデオの中で、ゆうこさんは差別に立ち向かうとともに、しょういちさんの気持ちをわかり寄り添っていくことを当たり前だと言っていました。自分だったら考えると、一人で差別に立ち向かうのは、心細いし、大変な勇気があることだと思います。差別を許せない、なくしたいという気持ちあっても、自分一人ではできないこともあります。そんなときには、仲間と一緒にあって、力を合わせればより力強く差別に立ち向かうことができると考えます。これは、仲間との「きずな」によって出来ることだと知りました。

ゆうこさんのように差別は間違っていると、はっきり言い、正しく行動できるためには普段から人権について深く考えておくことが大切です。みんなが平等で、安心して暮らせる社会にするために、差別に立ち向かえる人間になります。普段から差別を見逃さず、行動できるよう頑張ります。

隣保館カレンダー

3月の行事予定



日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
1	日		17	火	空手教室 19:00~
2	月		18	水	
3	火	空手教室 19:00~	19	木	
4	水	合同子ども会 19:30~	20	金	春分の日
5	木	スローエアロビック 10:00~	21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	空手教室 19:00~
9	月		25	水	各種相談日 10:00~
10	火	空手教室 19:00~	26	木	
11	水		27	金	
12	木		28	土	
13	金	合同子ども会 19:00~	29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	空手教室 19:00~
16	月				

